

環境と人間

くらしと動物

授業概要

人のくらしは動物と密接な関わりをもっています。ペットや動物園の動物は人に安らぎを与え、家畜は肉類、乳製品、卵などを供給してくれます。科学研究には実験動物が欠かせません。野生動物は環境の変化を教えてくれる貴重なインジケータです。動物と人は同じ哺乳類であるため、個体の発生や生理機能は非常に類似しています。動物の病気がときに人に感染します。このようにくらしと動物とは密接な関係があります。本講義では人のくらしと動物との関係を科学的に、更には法律、倫理、経済などの視点からも捉えて行きます。

到達目標

- (1) 人と動物の関係の歴史と現状を理解する。
- (2) 動物が人間社会にどのように役立っているのかを理解する。
- (3) 動物に対する人のあり方と責任を学ぶ。

成績評価

1. 出席率7割以上を成績評価の対象とする。但し、第1回目のガイダンスは出席数にカウントしない。
2. 提出締切に間に合わなかったレポートは減点する。
3. 2回のレポートの総合点により評価する。

担当教員 *teacher in charge*

安居院 高志 他
獣医学研究院 教授

授業計画

- 1) ガイダンス (1コマ)
安居院高志 (責任教員)
- 2-1) 家畜と人のつながり (1コマ)
木田克弥 (帯広畜産大学)
- 2-2) 産業動物の福祉 (1コマ)
瀬尾哲也 (帯広畜産大学)
- 3) 動物実験倫理と実験動物学の発展 (2コマ)
安居院高志 (実験動物学)
- 4) 心を通わせる動物との絆：最先端獣医療について (2コマ)
奥村正裕 (獣医外科学)
- 5) 野生動物と人との関わり
- 5-1) クマ編～ (1コマ)
下鶴倫人 (獣医野生動物学)
- 5-2) シカ編～ (1コマ)
柳川洋二郎 (獣医繁殖学)
- 6) 動物たちが支えるヒトの健康 (2コマ)
岡松優子 (生化学)
- 7) 動物からうつる人の病気 (2コマ)
苅和宏明 (公衆衛生学)
- 8) 動物の様々な寄生・共生現象 (2コマ)
中尾 亮 (寄生虫学)